

# 2016 年夏期 カナダ語学研修報告書

University of British Columbia  
English Language Institute

English for the Global Citizen  
2016.8.29 – 9.16



秋田県立大学 国際交流室

2017 年 2 月

# プログラム概要

## 【渡航先】

カナダ・バンクーバー

University of British Columbia (UBC)

(ブリティッシュコロンビア大学)

## 【参加プログラム】

English for the Global Citizen

(English Language Institute)

平成28年8月29日～9月16日 (3週間)

## 【滞在方式】

ホームステイ

## 【経費】

- 1) 個人負担 約27万～30万円 (授業登録料、学費、ホームステイ代、医療保険料等を含む)
- 2) 大学からの助成  
国際航空運賃 (秋田ー成田ーバンクーバー 往復)
- 3) その他費用 ※自己負担  
・現地交通費 (通学)、現地食費 ほか

## 【参加者の募集】

中上級レベルの語学研修プログラムとして、TOEIC/TOEIC IP スコア 500 点以上、TOEIC Bridge 150 点以上、または英検 2 級以上のいずれかを満たしていることを条件に募集を行った。

## 【プログラム参加者】

キャンパス	所属	学年	氏名
Honjo 本荘	Architecture and Environment Systems 建築環境システム学専攻	院1	Chiho Sato 佐藤 智穂
Akita 秋田	Agribusiness アグリビジネス学科	2	Masayoshi Masuda 増田 幹慶

## 【研修報告会】

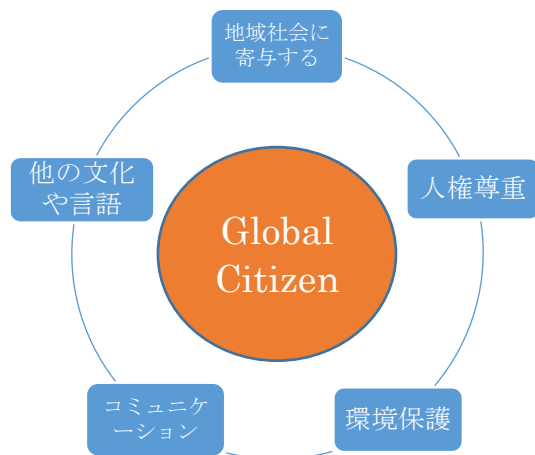
本荘キャンパス：平成28年11月17日

秋田キャンパス：平成28年11月25日

## 2016年 カナダ語学研修グループレポート

2016年8月28日～9月18日、私たちはカナダのバンクーバーにある  
University of British Columbia (UBC)に行ってきました。

### 1. プログラムの目的



私たち2人は、カナダのブリティッシュコロンビア大学が主催するEGC(English for the Global Citizen)プログラムに参加しました。

「地球に生きる市民としての英語」を学び、他の国々の人々と世界で起きている様々な問題についてディスカッションすることが、このプログラムの大きな目的の一つです。隣国であるアメリカでは大統領選挙についてのニュースが話題となっており、このプログラムでも取り扱いました。このことから、他国だから関係ないということではなく関心を持つべきという意識も生まれました。



EGCのクラスメイトと先生 教室にて↑

英語の基本的スキル、“読み・書き”については中学、高校で学んできましたが、このプログラムでより重視したスキルは、“聞く・話す”です。英語オンリー的环境下で自分が持っている英語力を存分に発揮しチャレンジすることができる素晴らしい3週間でした。

言うまでもなく、日本語とは違い、伝えたいことをすぐに言うことが出来ないことは多々ありました。ただ、それを自分なりに解決していき、日々成長していることを実感する毎日は刺激的でした。英語を学んでいく上で、話せない英語は本当に何の役にも立たないということを同時に理解した経験でもありました。

もちろん、前述の様に英語の勉強だけが目的ではありません。カナダを筆頭とした海外の文化に触れ、新しい友人を作り、交流を深めることも大切です！！

## 2. 授業について

このプログラムでは、初日にリスニングとオーラルコミュニケーションのテストが実施され、参加者は5つのクラスに振り分けられました。

授業は1週間毎に、1つのテーマを題材にして午前と午後で授業が行われました。私達は3週間コースでしたので、3つのテーマに基づいて進められました。

午前には、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキル向上を目指すため、語彙や会話で役に立つ文法、基本発音を学びました。

一方、午後はグループワークが行われ、約1週間かけてその週のテーマに沿ったプレゼンテーションの準備をして木曜日に発表しました。

他国に対するステレオタイプについて調べたり、ファストフードについてグループごとに調べてまとめたり、グループごとに「テクノロジーのない世界で人が生活したら？」をテーマにしてショートムービーを作成したりとよりアクティブでエキサイティングな内容でした。

金曜日の午後は、ワークショップの時間となっており、ELI (English Language Institute) のアシスタントティーチャーや外来講師のプレゼンテーションを聴講したり、他クラスの学生と交流するための時間でした。

### 滞在中のスケジュール

Week 1: 「異文化コミュニケーション」		Week 2: 「食物の政策」		Week 3: 「メディアとテクノロジー」	
Date 8月29日 Mon	Day 1 ・9:15-9:45 授業登録 ・9:45-10:30 リスニングテスト ・10:30-12:30 オーラルテスト・学内ツアー ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-14:30 授業オリエンテーション ・14:45-16:00 ホームステイオリエンテーション	Date 9月5日 Mon	Day 8 祝日(友人とショッピング)	Date 9月12日 Mon	Day 15 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date 8月30日 Tues	Day 2 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	Date 9月6日 Tue	Day 9 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	Date 9月13日 Tue	Day 16 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date 8月31日 Wed	Day 3 ・9:00-10:00 歓迎朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・13:30-15:45 午後の授業	Date 9月7日 Wed	Day 10 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	Date 9月14日 Wed	Day 17 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date 9月1日 Thurs	Day 4 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	Date 9月8日 Thurs	Day 11 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	Date 9月15日 Thurs	Day 18 ・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date 9月2日 Fri	Day 5 ・9:00-10:20 午前の授業 ・10:30-12:30 ワークショップ	Date 9月9日 Fri	Day 12 ・9:00-10:20 午前の授業 ・10:30-12:30 ワークショップ	Date 9月16日 Fri	Day 19 ・9:00-12:00 フェアエルパーティーの準備 ・12:00-14:00 フェアエルパーティー・修了式
Date 9月3日 Sat	Day 6 EGCプログラム ダウンタウンツアー	Date 9月10日 Sat	Day 13 友人達とピクトリア観光	Date 9月17日 9月18日	Last day 20 バンクーバー発 成田着
Date 9月4日 Sun	Day 7 EGCプログラム グランビルアイランドツアー	Date 9月11日 Sun	Day 14 ホームステイ先の友人とショッピング		

### 3. 施設設備の様子

UBCは、敷地内に学部棟のほか学生の交流施設や病院、プールやフットボールなど複数のスポーツフィールド、博物館などの施設を豊富に備えており、見ごたえのあるキャンパスでした。

キャンパスの中心部にある学生交流施設ネスト(Students Nest)と呼ばれる施設では、複数のカフェテリアや美容室なども運営されており、その名の通り多くの学生の憩いの場となっています。さらに上階ではサークル部屋が設けられており、ボルダリング用の部屋や

屋上菜園などもあり活発な現地学生のパワーをもらいました。

さらに新渡戸稲造ガーデン、ローズガーデン、人類学博物館、レックビーチなど一般の方も出入りする場が多く点在しており観光スポットとしても楽しめます。

このほかにも、各学部棟では日本ではあまり見ることのない造りや技術が使われた建物が多くあるので、興味のある人は訪ねてみてください。



#### 4. 課外活動

学外での活動は、①授業でのフィールドワーク、②現地学生によるアクティビティの2つに分けることができます。

##### ①授業でのフィールドワークについて

授業の一環として、各週のテーマに沿って、現地の人々に突撃インタビューを行い、そこから分かったことについて毎週プレゼンテーションを行います。

突撃インタビューは、キャンパス内の学生を対象に行った週もありましたが、学外で働く方々にアポイントメントなしで行った週もあります。

最初はとても戸惑いましたが、徐々にネイティブスピーカーに話しかけることに抵抗がなくなり、滞在中の大きな成長につながったと思います。先生方はインタビューに同行しませんが、どのように話しかければいいのか、何を質問するのか、また会話を録音や録画し

た場合は、彼らが何を喋っていたのか、丁寧にチェックし、私たちがサポートしてくれます。

##### ②現地学生によるアクティビティ

授業終了後や休日には、現地学生による観光地の案内や学内でのお菓子作りなどのイベントが催されます。

アクティビティは無料のものと有料のものがありますが、基本的に有料となるのは、水族館や美術館の入場料が発生する場合のみです。団体割引が適用されるため、個人で支払うより比較的安価に済むので、とても人気が高く定員オーバーで申し込めないときもありました。早い者勝ちです。

水族館ツアーでは、集合時間と場所の指定はあるものの、団体行動を強制されるわけでもなく、行き方を教えてくれて入場手続きをしてくれるだけだったので、行動範囲の制限がなく気楽に参加することができます。



## 5. ホストファミリーの紹介

### 増田幹慶



私がお世話になったホームステイの家族構成は父親と娘の二人家族という珍しいものでした。一緒に写っている男性は同じく EGC に参加していた日本人留学生です。お父さん（ピーター）はアイルランド人なのですが、イタリア料理とロックンロールをこよなく愛するファンキーな人でした（笑）。食事はイタリアンが中心でパスタがほとんどでした。最初の数日は美味しくて満足していましたが、やがて飽きてしまい少し辛かったのを覚えています。また、彼が料理をしている間と食事中にはロックが流れ賑やかなものとなりました。

娘のジョージアとは、トランプで遊んだり洋楽と一緒に歌ったりして、コミュニケーションを図りました。ピーターはいつも夜の就寝前に、「私の家に来てくれてありがとう。感謝しているよ。」と言ってくれました。

暖かい歓迎をしてくれて、楽しい時間を送れたことに只々感謝する毎日でした。他の学生に比べ、家でも英語を使う機会が多かったのではないかと、振り返ってみて思いました。

### 佐藤智穂

私がお世話になったホストファミリーは、父、母、息子の3人家族の家庭でした。また、私のほかに、入れ替わりでドイツやハンガリーの方が泊まり、滞在中は国際色豊かでした。

通学にバスを使うことやキャンパス内が広いことに初めはとても不安でしたが、ホストファミリーの方々が大学に勤めていることもあり、初日はバスの使い方やキャンパス内の案内など丁寧にしてくれました。

休日になると友人方を招いて朝に食事会を行う家庭だったので、そこに加わり現地の方々と交流をする機会も設けてくれました。

とても温かい家庭で、私の誕生日を祝ってくれたことも思い出の1つです。



## 6. 研修で学んだこと、県大生へのアドバイス

### 増田幹慶

私のクラスには日本人が16名、サウジアラビア人が1名という構成でした。圧倒的に日本人が多く最初はイメージと違うなど期待を裏切られた気持ちになりましたが、自己紹介をしていく中で某有名大学の人ばかりがいることに驚き、ここで切磋琢磨していけたら楽しいだろうと前向きになれました。授業は期待していた通りハイレベルでした。しかし、ただ辛いだけでなく仲間と協力して与えられたタスクをこなし、自分たちで考え取り組む授業はとても有意義なものであり、毎日が本当に楽しかったです。英語“で”ものを伝えることの難しさを改めて実感したことは勿論ですが、その中でも自分なりに試行錯誤して伝えることができた時の達成感は今までに感じたことのないものでした。

県大生へのアドバイスとして、海外に行ったことのない人のみならず、行ったことのある人であっても、様々な新鮮な経験をすることができるので、是非来年参加してほしいと伝えたいです。プログラム期間中は自力でありとあらゆる問題に対処しなければなりません。ただ、これこそがこの留学の最大の魅力だと考えています。ここで学んだ、すぐ人に頼るのではなくまずは自ら考え行動するという姿勢は、きっと将来社会に出た時に役に立つのではないかと思います。



### 佐藤智穂

本研修の申し込み当初、大学院生である私は「果たして研究を中断してまで語学留学をして得られるものがあるのか」と疑問を持ちつつ、参加しました。そんな不安とは裏腹に、多くのことを学ぶことができました。その中でも特に身になったことは、英語プレゼンテーション能力がついたことです。日々の講義をこなしていく中で、日本の講義では考えられないような時間の短さの中でクラス外の人に向けたプレゼンテーションの準備を行います。さらには、同じ内容の発表を何回も違うオーディエンスに向けて発表するのです。もちろん失敗することもありましたが、この反復練習の中で培われた能力は、確実に身につけていることを帰国後の英語の講義やゼミを通して実感しました。

もし、自分が大学院生であるからと短期留学の参加を悩んでいる方がいたら、私は参加することをお勧めします。





## 【個人レポート】カナダ語学研修を終えて

建築環境システム学専攻1年

佐藤 智穂

本研修の参加を決意した当初、私は3週間でできることは英語のアウトプットが向上する程度だと予想していました。しかし、3週間の短期留学を終えて、予想していた以上に多くのものを得ることが出来たと感じています。



### 外国人に話しかける勇氣

もともとアメリカでの生活経験のある私は、外国人と会話することに比較的抵抗がありませんでした。そのため、この3週間の滞在では気持ちの面では苦労しないだろうと高を括っていました。いざ講義がスタートすると、先生やホストファミリーはともかく、私たちのことを知らない現地の人を取材する課題を多く課せられ動揺しました。しかし、課題をこなしていく中で「自分はネイティブスピーカーに話しかけることができるんだ!」と大きな自信がついていきました。さらにバンクーバーではこちらからだけでなく、現地の人と話しかけて

来てくれます。キャンパス内や街中でも、些細なことから観光地のちょっとした案内まで英語で異文化の方々と接することの楽しさを実感できました。

### 相手を尊重する文化

カナダの中でも特にバンクーバーは多文化主義です。授業の一環でも多文化主義について取り上げられ、カナダはイギリスやフランス人が先住民から土地を奪い開拓を行ったと教わります。その過去を反省し、これからは様々な文化を受け入れるというのです。授業や人類学博物館の見学を通して、私は現地民が開拓時代に起こったことを認め、さらに先住民への理解や尊敬していること、そしてそれが多文化主義へとつながっていることに感動を覚えました。

現地は、海外から訪れている人に対してのみならず、高齢者や子供など弱者に対しても優しく寛大であることをバスの中など日常の中で目にすることができます。

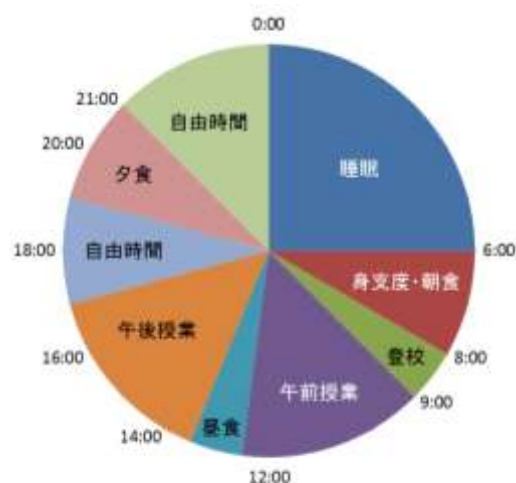
カナダのこのような文化に日本が学ぶ点はたくさんあると感じます。多文化主義へとつながっていることに、私は感動を覚えました。



## 滞在中の生活について

右図は私の現地生活の平日におけるタイムスケジュールです。

現地ではかなり健康的で規則的な生活を送りました。そんな生活を支えてくれたのは、私のホストファミリーである Bill と Dorcas です。また、滞在中に関わった先生、クラスメイト、そのほか現地の方々のおかげで成長することが出来ました。



We were delighted to have you as a Homestay student from ELI. You have a very mature spirit and were always thoughtful and considerate of others in the household. We appreciated your curiosity about life and your willingness to try new things and learn about people who are different from you. You exhibited a good balance between studying in the classroom with books and studying in "the classroom of real life." I hope you took home a deeper understanding and compassion for people from other cultures.

From, Dorcas

私たちは、ELI からホームステイの学生としてあなたを受け入れることができ、大変うれしかったです。あなたは成熟した精神を持って、常に思慮深く、家庭内でも思いやりを持っていました。私たちは、あなたの好奇心と異文化を学ぶチャレンジ精神を高く評価します。あなたは机上の勉強と「実生活の教室」のバランスがよかったです。私はあなたが異文化の深い理解と愛情を身につけたことを願っています。



## 【個人レポート】

アグリビジネス学科 2年

増田 幹慶

### 研修を通して

一番苦勞したことを英語の学習以外で挙げるとするならば、携帯がWiFiに接続していないと使用できなかったことです。バンクーバー市内でバスの時間を調べたり、ホストファミリーにメッセージを送りたいといった状況下では、スターバックスやセブンイレブン、マクドナルドなどフリーWiFiが提供されている店にわざわざ入って対処していました。友達の中には、事前に海外でも日本と同様に携帯を使用できる状態にして持ってきている人もいたので羨ましかったのを覚えています。

最も楽しかったことは、午後の授業にて各グループでショートムービーを作成したことです。なぜなら、私がグループの中で主役を演じたからです！！メンバーは阪大、北大、電通大と優秀な人達ばかりでしたが、自分の演技を褒めてくれて認めてもらえたことが一番嬉しかったというもあります。この時、“やってやれないことはない”ということに気づかされ、日本に帰ってもまた頑張ろうと思えました。

最高に楽しい仲間と先生方に出会えて幸せだったと心から思える3週間であったことは間違いありません！！



レストランにて

### ・一日のタイムテーブル

平日は学校と家で過ごす時間が圧倒的に多かったです。授業自体が楽しいものだったので“平日”と感じなかったですし、英語のスピーキング力を向上させるには友達も先生もいる学校の方がいい環境だと思います。



休日はバンクーバーの観光名所を回ったり、EGCのツアーに参加するなど、平日とは違った雰囲気でも楽しく過ごせました。また、夜に友達とBarに行ってお酒を飲みながらの食事は最高の時間でした！！



・ホストファミリーからのメッセージ

*My name is Peter and my daughter and I have been hosting international students in our house for the last two years.*

*Masayoshi was an absolute delightful guest in our home. He was very polite and we all got along very well. He was good and kind and enjoying playing cards with us. I got that he enjoyed all of the meals because he took pictures of every meal. My family wishes Masayoshi great success and he would be welcome to come back anytime.*

*P.S.> If he shows you a card trick , you don't bet.*

*~ From, Peter ~*

私ピーターと娘は、留学生を家に招いて2年になります。幹慶は私たちにとって最高に楽しいゲストでした。彼はとても礼儀正しく、私たちはとても仲良くすごしました。彼は優しく人柄も良く、一緒にトランプをして遊びました。食事の際に、いつも料理の写真を撮っていたので、きっと食事もすべて楽しんでくれたのでしょう。私の家族は、幹慶の大きな成功と、そして、またいつでも彼が帰ってくることを願っています。

P.S. もし彼があなたにカードトリックを見せてきたら、賭けにのるべきではない。 ピーターより

・担当教員からのメッセージ

*Masayoshi has been a hardworking, get easygoing learner of English-the perfect combination ! That is, he has made a consistent effort in all aspects of his life in Vancouver, such as classwork, homestay, and exploring all around him. At the same, Masayoshi always kept positive, cheerful, confident and curious.*

*~ From Lorraine Rehnby ~*

幹慶は勤勉さと陽気さを絶妙に兼ね備えた学生でした！彼は、授業、ホームステイ、周辺散策において、バンクーバーの生活中的あらゆる面でコンスタントに努力をしていました。それはクラスワーク、ホームステイ、いつも前向きで、陽気で、自信があり、好奇心旺盛な学生でした。

ロレインより

